

令和8年度当初予算 概要

令和8年2月
政策局

1 令和8年度 予算規模

(単位:百万円)

	令和8年度 当初予算案(A)	令和7年度 当初予算(B)	増減 (A)－(B)
一般会計	14,828	12,863	1,965

※職員給与費を除く

2 主要施策

令和8年度当初予算方針

- ◆ 政策局は市役所全体を動かすエンジンとして、部局を横断して「まち」をデザインする役割を強化することで、北九州市が持続的に成長し、市民が幸福を実感できる「稼げるまち」「彩りあるまち」「安らぐまち」の実現を目指す。
- ◆ 実現に向けて、まちにどのような効果をもたらし、市民の暮らしにどのような変化が現れるのかを思い描きながら、市民をはじめとする多様な主体の共感を呼ぶ政策を形成する。
- ◆ また、令和7年度予算の重点テーマであり、計画・構想等を検討した「サステナブル」や「女性」の分野については、まちの成長や市民の暮らしの質を高めるための重要な要素であり、令和8年度においては、これらの分野を具体的な施策として実行に移す。
- ◆ これらを踏まえ、次のことに令和8年度は重点的に取り組む。

01

世界をリードするサステナブルシティの実現

02

女性・若者など多様な主体が輝けるまちの実現

03

デジタルの力で市民に寄り添う行政の実現

【主な取組】

拡充

サステナブルシティ推進事業 【91百万円】

稼げるまち

市民と産官学が参画し、持続可能な社会の形成に向けたプロジェクトの創出を行う共創機関「リタラボ」を通じて、社会課題の解決に取り組むとともに、国内外におけるプレゼンスの向上を図るなど、市民や企業等と一体となってサステナビリティの実現に向けた変革に挑戦することで、新たな都市像「ネクストホライズン・サステナブルシティ」(令和8年1月公表)の実現につなげる。

新たな都市像

1



曼荼羅的なネットワーク

Mandala-like network

多様な主体が有機的につながる都市

2



利他的な都市

Altruistic City

互いを思いやる力を持つ都市

3



再生的な都市

Regenerative City

継続的に自らを再生する都市

4



世界変革の主体

City as
a transformative agent

世界の変革を自らつくりだす都市

【4つの概念】

新たな都市像を体現する3つのプロジェクト

Next Horizon Sustainable City

具現化するプロジェクト



【3つのプロジェクト】

【主な取組】

新規

Woman's CHOICE推進事業

【15百万円】

稼げるまち

令和7年度に実施した、女性のリアルな声を聴き施策に反映する「Woman's リアルVOICE プロジェクト」を踏まえ、

- 安心して健康に働き生活できる「ヘルスケア」
- 多様な分野の人とつながり、共感できる「コミュニティ」
- 自己実現して活躍できる「キャリア」などの分野

において、女性の選択が尊重される社会を目指すことで、すべての市民にとってコンフォートなまちの実現につなげる。

FM KITAQ



【Woman's リアルVOICE ラジオ】



【Woman's リアルVOICE Café】

新規

次世代デジタル人材育成支援事業

【1,116百万円】

彩りあるまち

北九州市立大学では、高度なデジタル人材の育成などを目的として、新学部((仮称)情報イノベーション学部)を開設することとしており、市としてその費用の一部を支援することで、理工系の先端的な教育が受けられる環境づくりの推進につなげる。



【新学部の整備イメージ図】

Vision③ デジタルの力で市民に寄り添う行政の実現に向けて

【主な取組】

新規 AI活用ナンバーワン都市推進事業 【92百万円】

彩りあるまち

AI活用推進都市宣言のもと、行政運営の高度化・効率化や社会課題の解決、市民サービスの向上、地域産業の活性化を図るため、AI活用の基盤整備や実証実験等を通じた業務改革に取り組むことで、創造的・効率的で、変化に柔軟かつ果敢に対応できる、AI活用ナンバーワン都市の実現につなげる。



【生成AIハッカソン】

拡充 BPR(業務改革)推進事業 (スマらく区役所サービスプロジェクト) 【196百万円】

彩りあるまち

労働人口減少が顕著となる2040年問題に対応した市役所の業務体制を構築するため、事務の簡素化や手順の統一化・集約化など、業務プロセスの一体的な見直しや再構築を行うことにより、職員作業時間の削減を目指し、多様化する行政ニーズに対応できる持続可能な体制づくりにつなげる。



多様化・拡大する行政ニーズ

事務作業量増加



事務手順の
統一化・集約化



相談・支援・企画立案など、
職員にしかできない業務へ注力

「きめ細かく」「丁寧に」「考える」市役所へ

3 主な事業

「稼げるまち」の実現

●稼げる「基盤」をつくる

拡充 ・サステナブルシティ推進事業

91百万円

市民と産官学が参画し、持続可能な社会の形成に向けたプロジェクトの創出を行う共創機関「リタラボ」を通じて、社会課題の解決に取り組むとともに、国内外におけるプレゼンスの向上を図るなど、市民や企業等と一体となってサステナビリティの実現に向けた変革に挑戦することで、新たな都市像「ネクストホライズン・サステナブルシティ」(令和8年1月公表)の実現につなげる。

・メガリージョン推進事業

13百万円

連携中枢都市圏や下関市をはじめとする自治体間の連携に取り組み、メガリージョンの視点により、北部九州地域の一体的な発展を目指すことで、域内外から人を惹きつけ、将来にわたって発展し続けるまちづくりを進める。

●稼げる「人」を育む

新規 ・Woman's CHOICE推進事業

15百万円

令和7年度に実施した、女性のリアルな声を聴き施策に反映する「Woman's リアルVOICE プロジェクト」を踏まえ、安心して健康に働き生活できる「ヘルスケア」、多様な分野の人とつながり、共感できる「コミュニティ」、自己実現して活躍できる「キャリア」などの分野において、女性の選択が尊重される社会を目指すことで、すべての市民にとってコンフォートなまちの実現につなげる。

・シン・ジダイ創造事業(若者のチャレンジ応援)

40百万円

若者の自由な発想や提案を引き出し、それらを実現させるための伴走支援等に取り組み、地域一体で「日本一若者を応援するまち・北九州市」の実現を目指すことで、若者の価値観や社会情勢の変化に対応し続けられる持続可能なまちづくりを進める。

●稼げる「産業」をつくる

・海外プロモーション促進事業

19百万円

既存の姉妹友好都市との交流や、新たな国・地域との関係性の構築を推進し、北九州市のポテンシャルを生かした更なるプロモーションにより北九州市のプレゼンス向上を図り、海外の活力を取り込むことで、北九州市の経済成長につなげる。

「彩りあるまち」の実現

●彩りある「空間」をつくる

新規 ・AI活用ナンバーワン都市推進事業

92百万円

AI活用推進都市宣言のもと、行政運営の高度化・効率化や社会課題の解決、市民サービスの向上、地域産業の活性化を図るため、AI活用の基盤整備や実証実験等を通じた業務改革に取り組むことで、創造的・効率的で、変化に柔軟かつ果敢に対応できる、AI活用ナンバーワン都市の実現につなげる。

拡充 ・BPR(業務改革)推進事業(スマらく区役所サービスプロジェクト)

196百万円

労働人口減少が顕著となる2040年問題に対応した市役所の業務体制を構築するため、事務の簡素化や手順の統一化・集約化など、業務プロセスの一体的な見直しや再構築を行うことにより、職員作業時間の削減を目指し、多様化する行政ニーズに対応できる持続可能な体制づくりにつなげる。

・情報システム統一・標準化推進事業

420百万円

標準化対象20業務について、各業務の移行時期にあわせた必要な調整を行い、安全な移行を進めることで、市民サービスを安定的に滞りなく提供する。

新規 首都圏関係人口創出・拡大事業

25百万円

戦略的なプロモーションによる都市の魅力発信、北九州市への理解・関心を深める交流促進などに取り組み、首都圏における認知度を高め、ふるさと納税、観光、ビジネスなどの分野における関係人口の創出・拡大を図ることで、人や企業・投資を呼び込むことにつなげる。

・ふるさと寄附金促進事業

1,617百万円

ふるさと納税返礼品の提供や寄附募集に関する広報等を実施し、全国の方々に北九州市の魅力を知ってもらうことにより、北九州市を応援してくれる関係人口の拡大や地場産業の振興を推進する。

●彩りある「人」を育む

新規 次世代デジタル人材育成支援事業

1,116百万円

北九州市立大学では、高度なデジタル人材の育成などを目的として、新学部（（仮称）情報イノベーション学部）を開設することとしており、市としてその費用の一部を支援することで、理工系の先端的な教育が受けられる環境づくりの推進につなげる。

・北九州市立大学への運営支援

4,036百万円

設立団体として、北九州市立大学の自立的、機動的かつ安定的な大学運営や施設の老朽化対策、国の制度による授業料減免等を支援する。これにより、教育・研究機能の充実を図ることで、大学の強みである社会や時代のニーズに応じた人材の育成等を通じて、本市の持続可能な発展への貢献につなげる。

新規 企業版ふるさと納税を活用した大学等応援事業（基金積立）

70百万円

企業版ふるさと納税による寄附金の受付・基金積み立て後に、学生の修学環境の充実や大学間連携に取り組む市内大学等を支援することにより、大学等の教育・研究機能の充実を目指すことで、学生が持続可能で質の高い教育・研究を享受できる環境づくりを促進する。

「安らぐまち」の実現

●生活基盤の「安心」を支える

新規 大手町ビルエレベーター改修事業

230百万円

男女共同参画センターや大手町練習場等が入居している大手町ビルは、設置後30年以上が経過し、エレベーター設備の老朽化が進行しているため、改修工事を行うことで、市民が安全かつ快適に利用できる持続可能な施設を目指す。

その他

・新ビジョン推進事業

12百万円

北九州市・新ビジョンの適正な進行管理と今後の政策展開を検討するため、調査研究や外部有識者との意見交換を行う。あわせて、新ビジョンの更なる浸透・発信に取り組むことにより、目指す都市像の実現に向けて、産学官民などの各主体による主体的な行動につなげる。

【問合せ先(全体に関すること)】
政策局 総務課
TEL 093-582-2158